



七尾中学校 学校だより

七尾の丘

校訓 「感 考 行」



マスコット“七王”（ななおう）

第7号

令和8年9月3日
廿日市平良二丁目2-34

TEL:0829-32-8200

当たり前の毎日に感謝！

令和8年度の夏休みもあっという間に終わりました。

9月1日の始業式の話の中で、夏休み中に起きた大きな自然災害のことにも触れ、当たり前にある日々の奇跡に感謝し、どんな困難にも仲間とともに前を向いて立ち向かっていってほしいということを生徒のみなさんに伝えました。

2学期は、多くの行事もあり、一人では乗り越えられない壁にぶつかることもあるかもしれません。そんな時こそ、自分の周りにいる仲間とともに、力を合わせみんなで乗り越えていって欲しいと願っています。

この2学期も、七尾中学生一人一人が輝き、仲間とともに前に進んでいく姿を楽しみにしています。

七尾中の教職員も力を合わせ、生徒のみなさんを支えていきます！

【2学期始業式校長式辞より（一部の概略）】

さて、この夏休み、皆さんはどのように過ごしたでしょうか。部活動や勉強、家族との時間など、それぞれに思い出ができたことと思います。一方で、この夏は全国各地で地震や大雨、台風といった激しい自然災害が相次いだ時期でもありました。ニュースなどで被災地の映像を目にし、胸を痛めた人も多かったのではないのでしょうか。被災された方々には、心よりお見舞いを申し上げます。

私たちがこうして今、安全な校舎に集まり、仲間と顔を合わせて会話ができること。朝、目を覚まし、ご飯を食べ、学校に通えること。災害の映像を見るたびに、私たちが普段「当たり前」だと思っている日常が、いかに奇跡的でありがたいものであるかを強く実感させられます。

先月の8月5日。第108回全国高校野球選手権大会の開会式では、7月28日に発生した熊本地震による震災を踏まえ、八王子実践高等学校の矢沢主将が選手宣誓の冒頭で次のように語り掛けました。

「宣誓

私たちは、全ての方々に感謝を抱き、戦っていきます。

人生には、幾多の困難が待ち受けています。

人々が、明日へ踏みだそうと歩みを進める度に、自然は何度も、何度も大きな試練を与えてきます。

しかし、困難は下を向く要因ではなく、前を向き、仲間とともに支え合い、道を切り開く大きな原動力である。私たちはそう信じています。」

被災地で、地域の人々が互いに声を掛け合い、力を合わせて何度でも立ち上がろうとする姿から、私たちは人間の持つ本当の強さを学びます。そして中学生の皆さんは、すでに誰かを支え、ともに歩むことができる十分な力を持っています。

2学期には、日々の授業や部活動、文化祭などの学校行事など、仲間と力を合わせる場面がたくさん待っています。時には意見がぶつかったり、上手くいかずに悩んだりする困難もあるかもしれません。そんな時こそ、下を向くのではなく、隣にいる仲間の存在を感じてください。「一人では乗り越えられない壁も、仲間となら越えられる」——そう信じて一歩を踏み出す経験が、皆さんを大きく、たくましく成長させます。（後略）

夏休み中も七尾中学生徒が奮闘しました！

夏休み中に開催された主な大会やコンクールの結果を紹介します。

○ 団体の部

- ・バレーボール部 第7回 MisuzuCuore バレーボール杯 B級第2位
- ・吹奏楽部 第67回広島県吹奏楽コンクール 優秀賞
- ・剣道部 第4回広島県中学校ビギナーズ剣道大会 総合の部 優勝
男子団体の部 優勝（七尾中学校A） 第3位（七尾中学校B）

○ 個人の部

- ・第4回広島県中学校ビギナーズ剣道大会
一年生男子個人の部 優勝 藤林 和 第2位 宮田 廉太郎
第3位 海江田 湊 丹下 晟太郎
一年生女子個人の部 第2位 中村 葵 二年生女子個人の部 第3位 湯村 紗智
三年生男子個人の部 第3位 忠末 侑大
- ・青少年健全育成に関する標語募集

（特選）

3年 河野 朔

（入選）

1年 宮庄 希一 吉岡 照陽 加美 莉愛

3年 檜垣 紗葵 竹之内 羽未 丹下 温花



大切なあなたたちを守るために！

広島県教育委員会では、支援を必要としている生徒ほど SOS を出し難いことを踏まえて、生徒の悩みや不安を早期に把握し支援につなげることができるよう、生徒が「SOS の出し方について学ぶための心理教育」や、教職員に対する「自殺予防教育に係る校内研修」の一層の充実を図るために、「教育相談体制強化事業」を6月補正予算で予算化されました。

本校では、8月27日に3年生対象に、村上 SC と学級担任による「心理教育」を実施しました。授業では、肩のリラックス法や10秒呼吸法の実践を通して、多くの生徒が「気持ちが落ち着いた」「スッキリした」と効果を実感していました。また、自分のストレスサインや対処法を知ることによって「自分に合ったリラックス法を試したい」「一人で抱え込まず、困った時はスクールカウンセラーに相談したい」といった前向きな感想が多く寄せられ、自分の心と丁寧に向き合う貴重な機会となりました。

2年生、1年生は9月3日、9月10日に同様に「心理教育」を、教職員は9月3日に「自殺予防教育に係る校内研修」を実施する予定です。これからも、生徒の悩みや不安を早期に把握し支援につなげることができるよう、学校全体で取り組んでまいります。



七尾中は夏休み中も新しい挑戦をしていました！

今年度の夏休み（7月22・23日）、七尾中はスタディ・サポート・タイム（S・S・T）という新しい取組を実施しました。

平成の時代、全国の多くの中学校では学校側から生徒・保護者に声をかけて、夏休みに登校してもらい中学校の先生が補習を行っていました。昨年度、七尾中でも1年生限定で夏休みに補習を行っていましたが、今年度はもっと生徒が主体的に学習に取り組めないかと考え、始めた取組がS・S・Tでした。

S・S・Tの特徴の一つは、勉強を教えてくれるのが廿日市高校の生徒（廿高生）ということです。七尾中の先生も教室にいて、必要な場合は支援しますが、基本的には協力してくれた延べ41名の廿高生が2、3名の七尾中学生グループのチューター（伴走者、サポート役）として配置され学習を進めていきます。

その他の特徴として、参加中学生は完全希望制で自ら志願した生徒たちが参加しているということです。ですから、参加者の中には勉強が得意な生徒も苦手な生徒もいますが、それぞれのペースで廿高生のサポートを受けながら自ら学習を進めていました。

1日2時間の学習でしたが、時間はあっという間に過ぎ、2日間のS・S・Tが終わった時には、参加生徒は皆充実した顔をして感謝の言葉を伝えていました。

廿高生からは、勉強を教えてもらうだけでなく、高校生活のことや、高校受験のことなど色んな話を聞かせていただいていたようで、七尾中の生徒は高校生活や高校生に憧れの気持ちを持っていました。

S・S・Tでは、七尾中の生徒も廿高生も本当にいい顔をしていました。そのような姿を見て、4月に廿日市高校へ行ってS・S・Tについてお願いをして、準備をしてきて本当に良かったなと思いました。

廿日市高校のみなさん、本当にありがとうございました！これからも、よろしくお願いします！！



【参加生徒の感想～デジタル生活ノートより～】

- 今日は最後の SST がありました。高校生の先輩たちとも最初より結構仲が良かったです。宿題は数学をやいましたが、わからないところは先輩たちが解き方を教えてくれたりしたので前より点数が上がりました。自分たちも高校生になったら中学生とかにちゃんと教えられるような力を持ちたいです。
- 今日はスタディーサポートタイムがありました。ドリル系でまだ終わっていなかった高校入試問題を解いて高校の先生や高校生の人に答え合わせをしてもらったところ、令和 8 年が 33 点・令和 7 年が 34 点でした。平均が 20～25 点くらいなので、そう考えると今の段階で結構取れているように思えました。高校の先生に答え合わせをしてもらうという貴重な機会だったため、この機会を無駄にしないように勉強しようと思います。
- 今日は廿高の先輩たちにたくさんの勉強を教えてもらいました。特に難しかった理科の計算を教えてもらいました。夏休みだけではなく冬休みなど長期休みのときにまたやってほしいです。
- 今日は SST (スタディーサポートタイム)に行きました。家ではなかなか勉強する気が起きませんでしたが、SST では高校生の先輩たちがわかりやすく教えてくれるので夏休みの宿題をかなりスムーズに進めることができました。明日も SST に行くので楽しみです。

お知らせ

- これから秋の台風シーズンとなります。秋の台風は、動きが早く、本州を直撃する進路を取りやすいことが特徴です。また、秋雨前線の影響も相まって大雨となることも多く、広い範囲で被害をもたらします。
気象警報や避難情報が発令されている場合は、5 月 27 日に tetoru で配信した通知文書のとおり対応してください。また、警報等が発令されていなくても、気象状況等で身の危険を感じる場合は、無理に登校しないなど、安全を最優先した行動を心掛けてください。
- 2 年生はキャリア・スタート・ウィーク（職場体験学習）、3 年生は防災学習について、夏休み中も熱心に取り組んでまいりました。そして、これらの取り組みは、地域の方々のご協力がなければ実現できない貴重な学びでした。
これらの貴重な学びについて、生徒たちは今、自分たちの体験を振り返り、学習のまとめをしているところです。
これらの 2・3 年生の取組と 1 年生のヒロシマ学習について、9 月 17 日（木）5・6 時間目に総合的な学習の時間参観を開催します。生徒たちが体験してきた学びの一環を是非リアルにご覧ください。